

先日はてがたんにご参加いただきありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回10月の「てがたん」は10月10日(土)で「渡る生き物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは10月3日(土)です。よろしくお願いいたします。

## 9月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→鳥博前の田んぼ→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2015年9月12日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 22人 (一般14人、高校生1人、子ども7人)
- 市民スタッフ 6人 (伊東茂子、岡廣志、小泉伸夫、寒江洋次、弘實さと子、松村定雄)
- 鳥博職員 1人 (塩田いづみ)

## 観察記録 - 9月に観察した生き物リスト-

### 【鳥類】

サギ科：コサギ/クイナ科：オオバン/タカ科：トビ、サシバ/キツツキ科：コゲラ/モズ科：モズ/カラス科：ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ハト科：ドバト (外来種)

### 【両生類】

アマガエル科：ニホンアマガエル

### 【は虫類】

カナヘビ科：ニホンカナヘビ

### 【花】

ツククサ科：ツククサ/キク科：セイヨウタンポポ、アキノノゲシ、オニノゲシ、タカサブロウ/カタバミ科：オッタチカタバミ、カタバミ/ハエドクソウ科：トキワハゼ/アカバナ科：メマツヨイグサ/ブドウ科：ヤブガラシ/アゼナ科：ウリクサ/クマツヅラ科：クマツヅラ/アカネ科：ヘクソカズラ

### 【直翅目】

バッタ科：オンブバッタ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ/イナゴ科：コバネイナゴ/キリギリス科：ウスイロササキリ、クビキリギリス、ツユムシ/コオロギ科：エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、オカメコオロギ、カネタタキ、マダラスズ、シバズ、クサヒバリ

【トンボ目】 トンボ科/シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、ウスバキトンボ、ノシメトンボ、アジアイトトンボ

### 【チョウ目】

アゲハチョウ科：ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ、ナガサキアゲハ/シロチョウ科：モンシロチョウ/セセリチョウ科：イチモンジセセリ/タテハチョウ科：アカボシゴマダラ、ツマグロヒョウモン/シジミチョウ科：ヤマトシジミ/シャチホコガ科：モンクロシャチホコ (幼虫) /イラガ科：イラガ (幼虫)

### 【カメムシ目】

カメムシ科：チャバネアオカメムシ/サシガメ科：ヨコヅナサシガメ/セミ科：アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ

### 【クモ目】

ジョロウグモ科：ジョロウグモ/コガネグモ科：コガネグモ/コモリグモ科：コモリグモの仲間

# 9月の観察アルバム



今回のテーマは「秋の虫」でした。博物館周辺にいるトンボやバッタなどをつかまえて観察しました。コオロギやカナタタキの声なども聞くことができました。渡り鳥のサシバが3羽上昇気流をとらえて上昇している姿も観察できました。



今月の案内人 小泉伸夫さん 弘貴さと子さん



① オスのショウジョウトンボ。全身真っ赤なトンボです。



② オンブバッタ。メスの体の上にオスがのっている姿がよく見られます。



③ ツクムシ。草の葉を食べる草食性で、やや小さめのキリギリスの仲間。



④ イラガの幼虫を捕食しているヨコツナサシガメ。



⑤ トノサマバッタの口の横側は青色が特徴です。



⑥ **キリギリスの正面顔**

ウスイロササキリとクビキリギリスの正面顔です。顔は尖っています。



9月てがたんの観察生物とレポート



⑦ **ショウリョウバッタ褐色型**

大きくて立派な褐色型のショウリョウバッタがいました。



⑧ コバネイナゴ。翅は短く、腹端を越えない場合が多い。



⑨ ノシメトンボのオスとメス。オスの方が赤くなります。オスは腹の根元に副生殖器があるので、わずかに突起が見えます。



⑩ エンマコオロギ。日本産のコオロギの仲間では最大。



⑪ トノサマバッタの幼虫。成虫と同じ形をしています。

## ツバメのねぐら

8月・9月は、ツバメも日本での繁殖を終え、南へ渡っていく時期です。この頃になると、ツバメは集団でねぐらをとるようになります。ツバメのねぐらの場所としては、水辺のヨシ原が最も好まれます。このあたりでは、手賀沼のヨシ原に集団ねぐらを作っているのが観察されています。

ツバメが集団ねぐらを形成する理由はよくわかっていませんが、より効率良く食物を得るために食物の有り場所の情報を交換するためだとか、たくさん集まることによって捕食者を早く発見したり、捕食者に襲われた時に逃切れる確率を高くするためというような説があります。



ツバメ